

早稲田大学 政治経済学部 英語 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式・記述式併用
試験時間	90分
特徴・その他	例年通りの全問が英問英答。難易度の異なる問題が適度に散りばめられているが、水準問題をいかに確実にゲットするかが合否の分かれ目となるだろう。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
	今日的なグローバル化の特質	抽象性の薄い理解しやすい問題。文脈の取りやすさから単語が類推できる。	普通 (20分)
	科学技術に基づく現代産業革命(新成長理論)	技術革新と経済との関係を略述している。内容・単語とも平易。稼ぎどころである。	普通 (15分)
	小説の一節	満点を取ってほしい。	易 (10分)
	雑誌の相談欄	穴埋め、自由作文ともに難しいが、部分点を取ればよいぐらいの気持ちでアタックすること。	難 (40分)

〔総合コメント〕

長文が易し目だった分、他の出題にしわ寄せがいった趣。 ~ の完答を目指す勢いで、70%の得点が確保できるのではなからうか。論理の筋道を押さえることを常に心がける学習を継続すること。